

令和3年度 第12回県政参画電子アンケート  
「鳥取県耐震改修促進計画の改定」に関するアンケート結果概要

1 調査概要

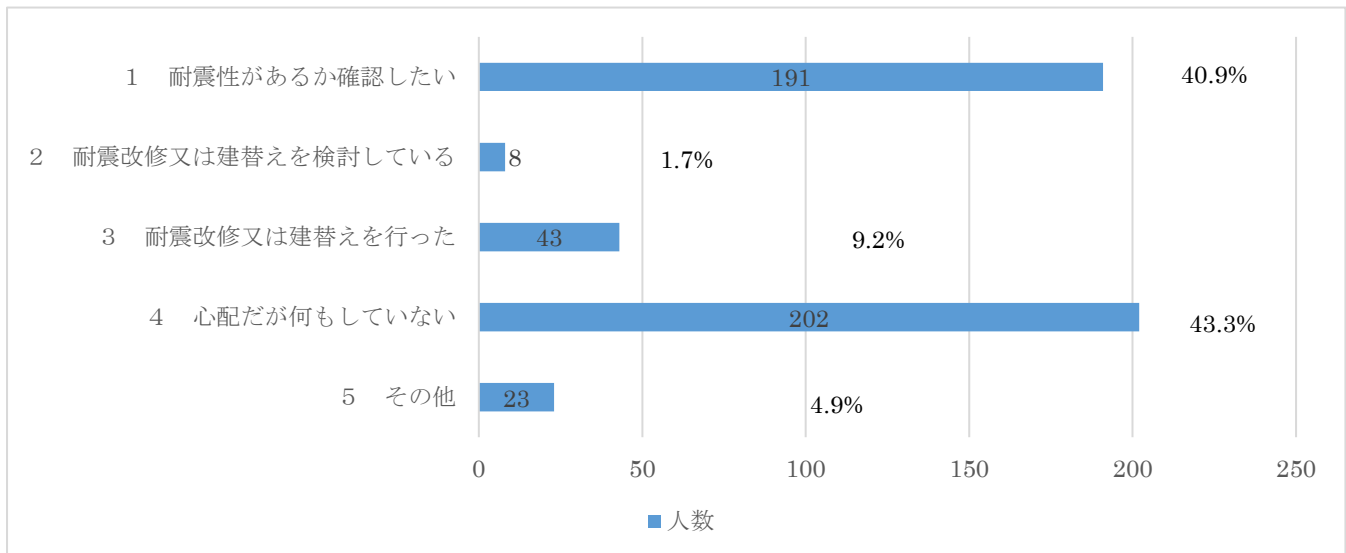
- テーマ 「鳥取県耐震改修促進計画の改定」に関するアンケート
- 実施期間 令和4年2月14日～2月28日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 740名
- 回答数 467名(回答率 63.1%)

2 目的・概要

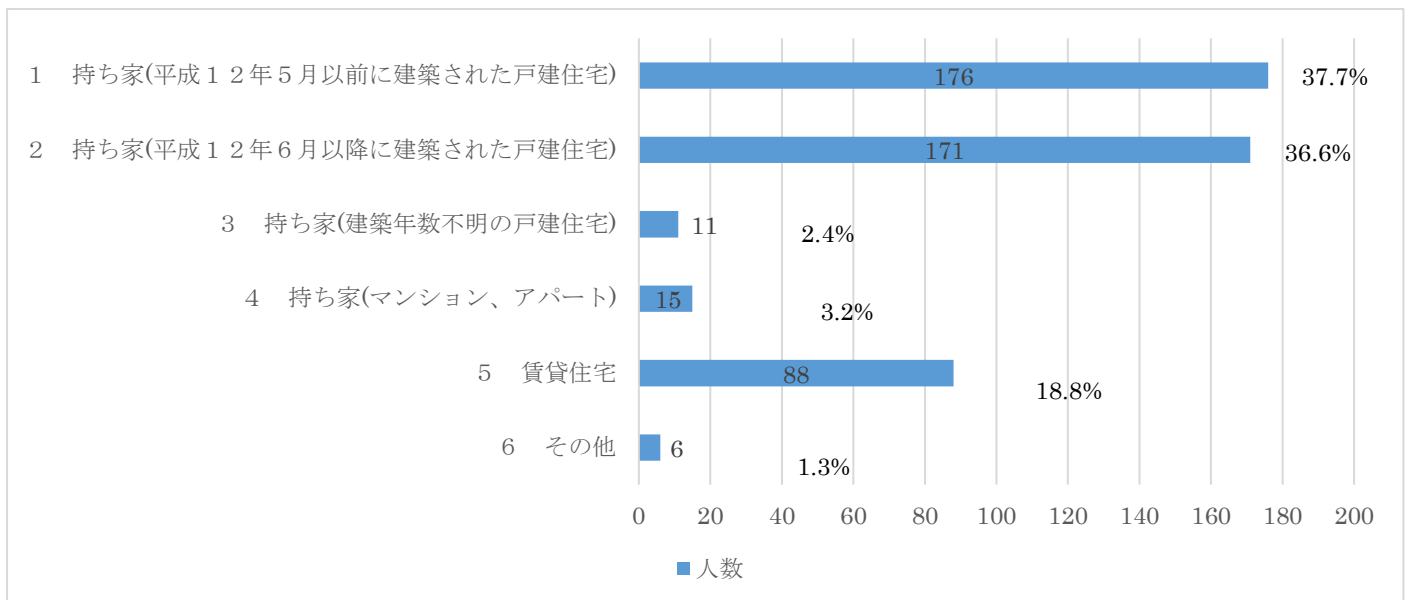
鳥取県では、地震による建築物等の倒壊から県民の生命・財産を守ることを目的に「鳥取県耐震改修促進計画」を策定し、建築物の耐震化目標を定め耐震化促進に取り組んでいます。

この度、令和3年12月に国の計画が改定されたことを受け、平成28年度に改定した「鳥取県耐震改修促進計画」について、建築物の耐震化目標、耐震化促進に係る施策を見直すことにしましたので、県民の皆さんの意見を反映させるためアンケートを実施しました。

**【問1】国の中央防災会議では、南海トラフ巨大地震、首都直下地震の震災対策が進められていることに加え、ここ近年各地で大きな地震が発生し建築物の耐震化促進について切迫性が高まっています。住宅の耐震化に取り組みたいという考えはありますか。**

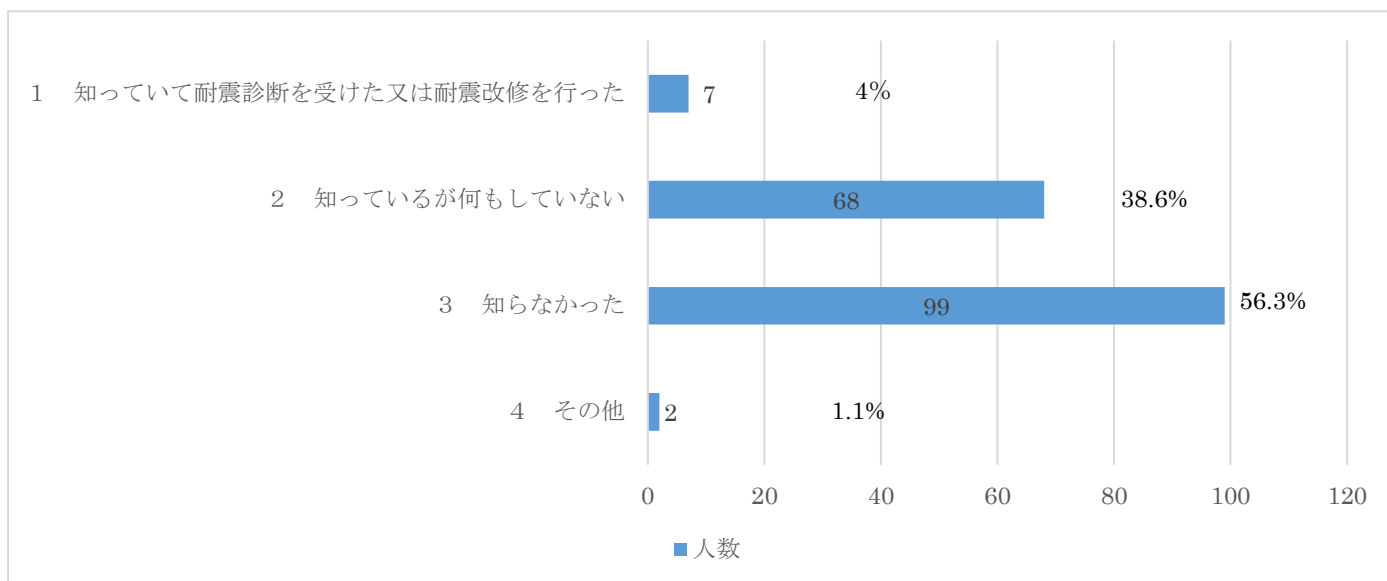


**【問2】あなた、又はご家族の居住形態を教えてください。**

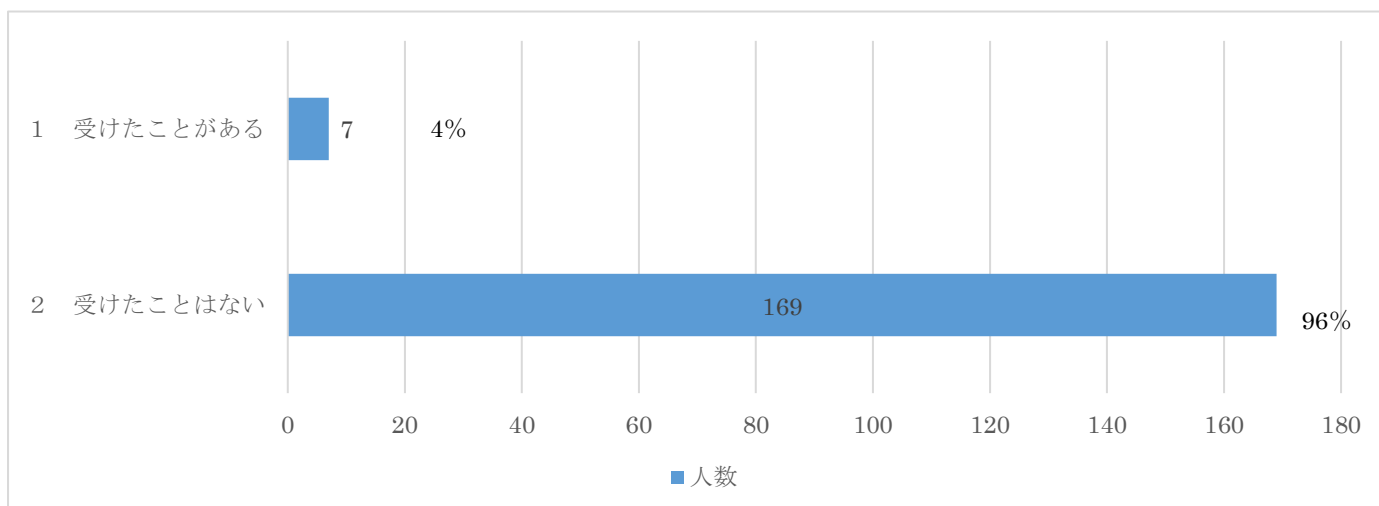


問3から問11は問2で「1」を選択された方のみお答えください。

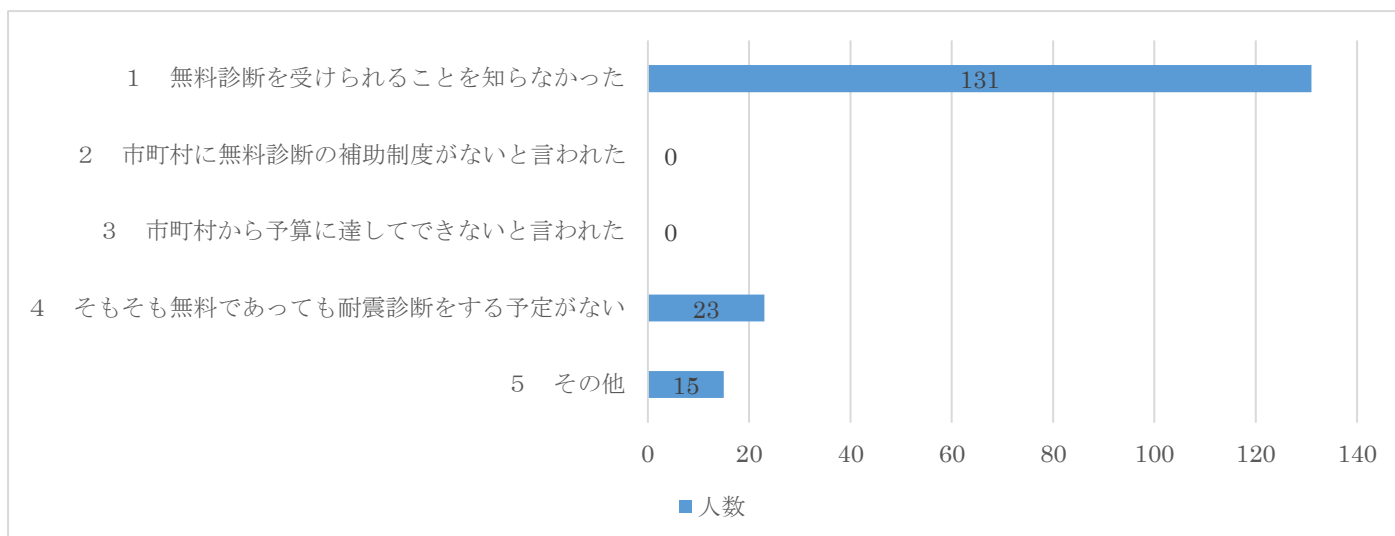
【問3】平成12年5月以前に建築された住宅は、耐震診断により耐震性能の確認をした方がよいことを知っていますか。



【問4】平成12年5月以前に建築された住宅は、無料で耐震診断を受けることができます。無料耐震診断を受けたことがありますか。

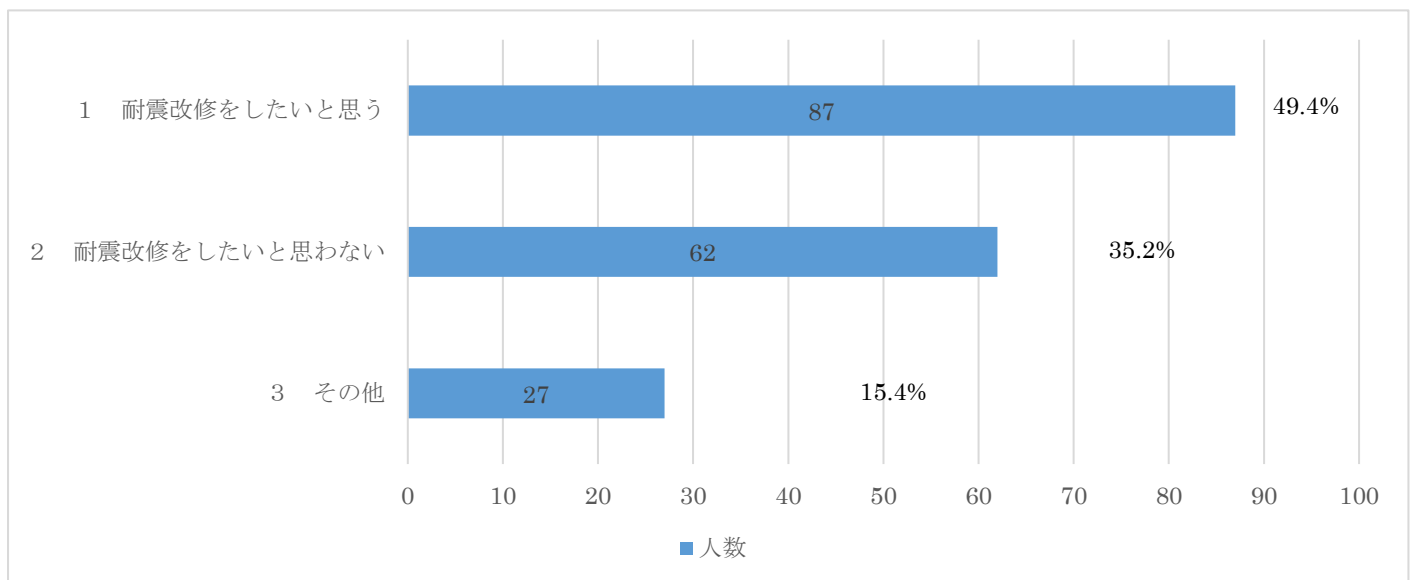


【問5】問4で「2」を選択された方にお伺いします。無料診断を受けたことがない理由を教えてください。

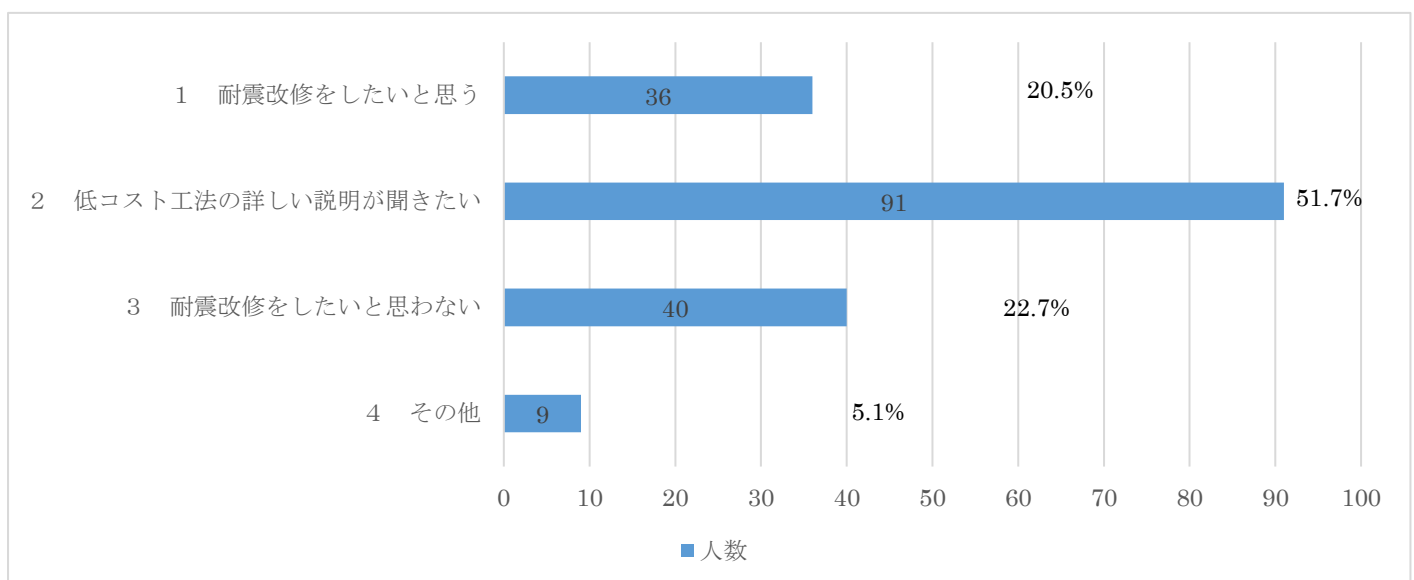


※回答者169名

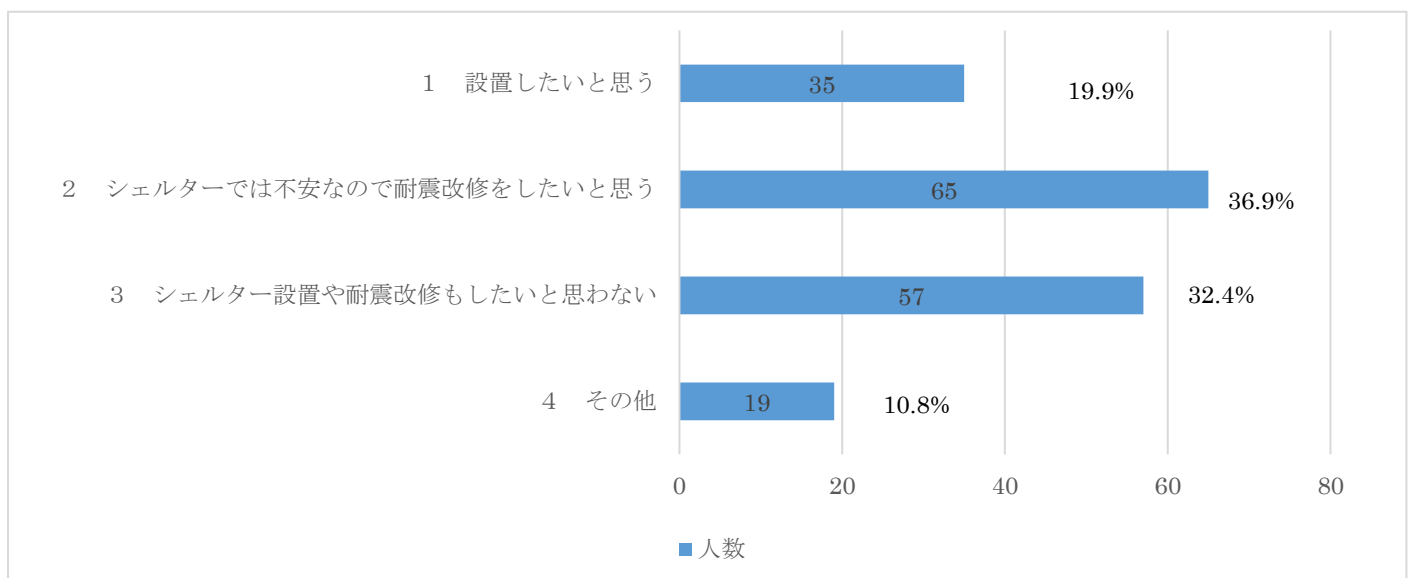
【問6】住宅の耐震改修補助制度では、補助率について、令和2年度に2/3から4/5に引き上げをしました。(補助金限度額は100万円)この制度であれば耐震改修をしたいと思いますか。



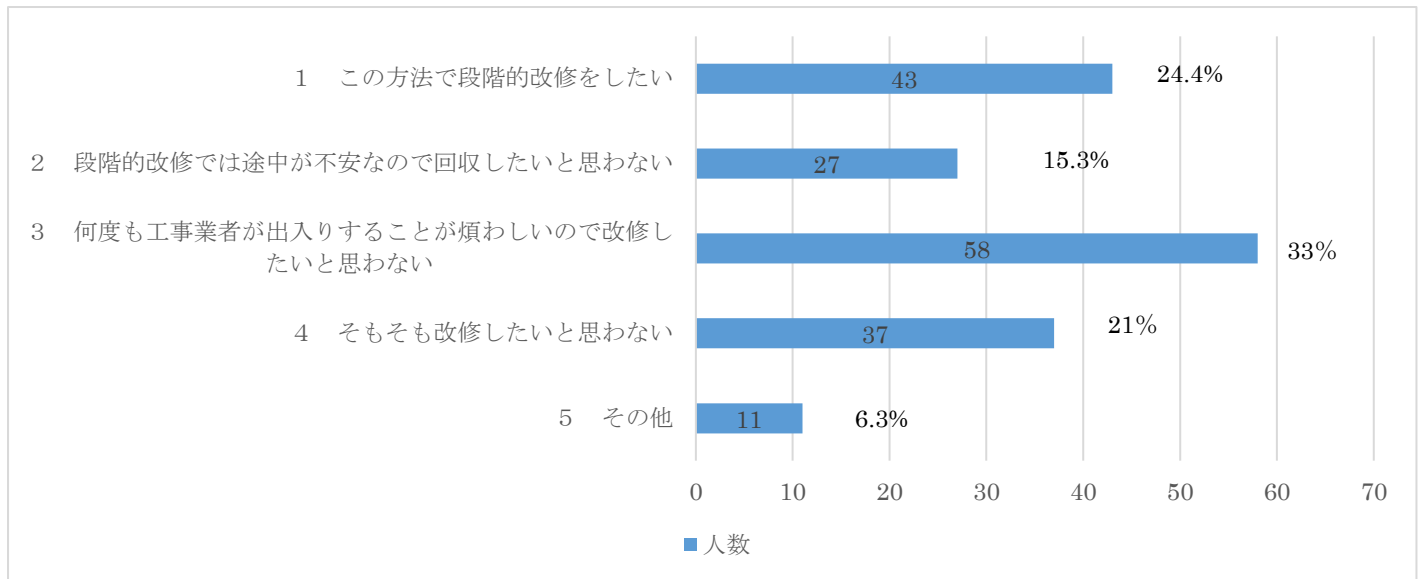
【問7】耐震改修工事の負担軽減のため、通常の工事費より半分程度の安価で、工事期間が短く、住みながら工事できる「低コスト耐震改修工法」という手法があります。この工法で耐震改修をしたいと思いますか。



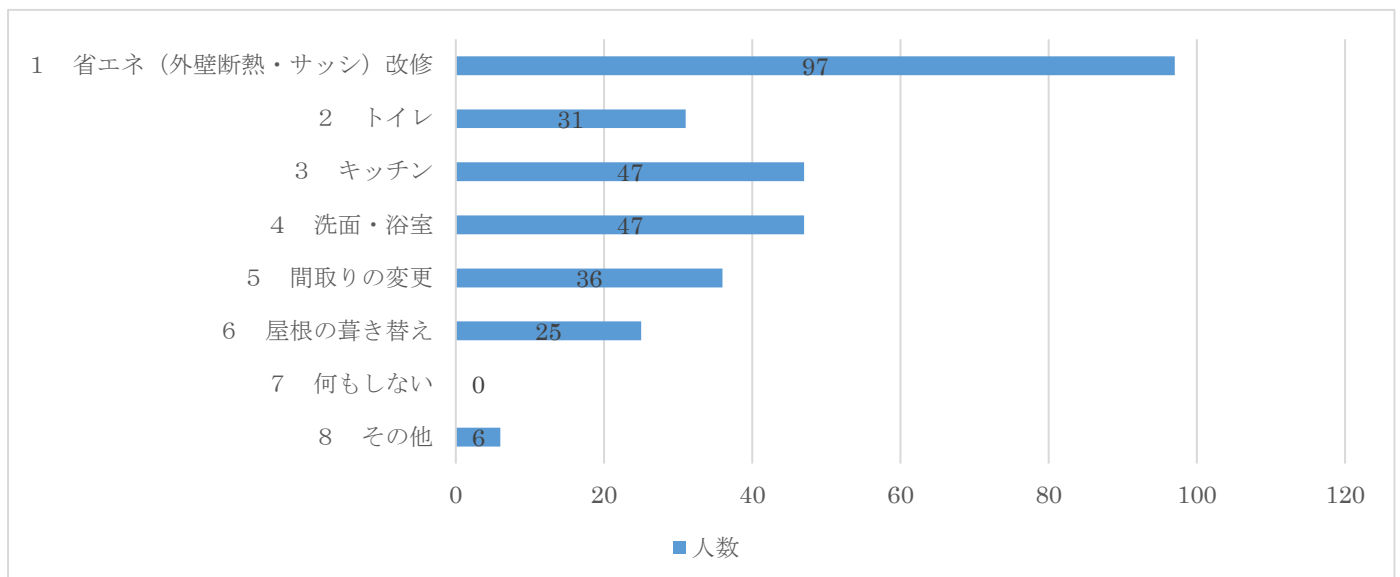
【問8】住宅が倒壊しても最低限の空間を確保する「耐震シェルター」を建物内部に設置する耐震対策があります。シェルターのような耐震対策であれば設置してもよいと思いますか。



**【問9】通常1回で行う耐震改修工事を複数回に分けて行うことで、所有者の負担を軽減し耐震改修に取り組むし易くする段階的改修という方法があります。このような改修方法についてどう思いますか。**

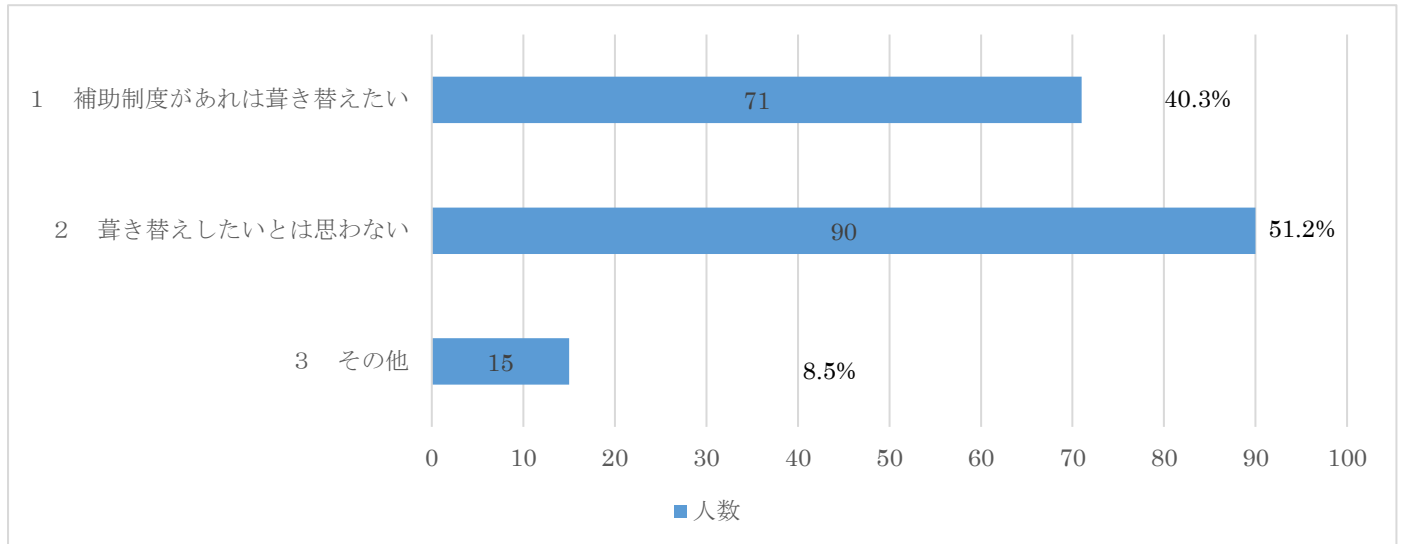


**【問10】耐震改修に併せて住宅リフォームを行うとしたらどのような設備のリフォームをしたいと思いますか。**



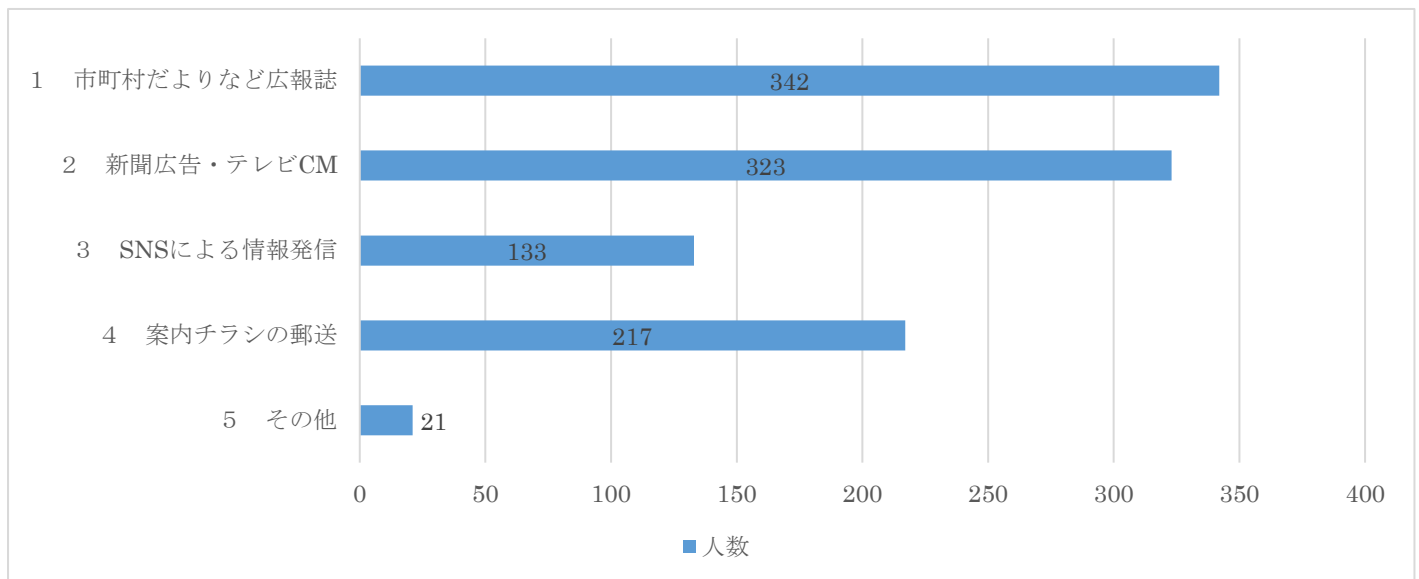
※3つまで選択、回答者176名

【問11】屋根の地震対策は、軽い金属屋根に葺き替える方法や地震に強い屋根瓦に葺き替える方法があります。県は屋根瓦の耐震対策について補助制度がありますが、屋根改修をしたいと思いますか。



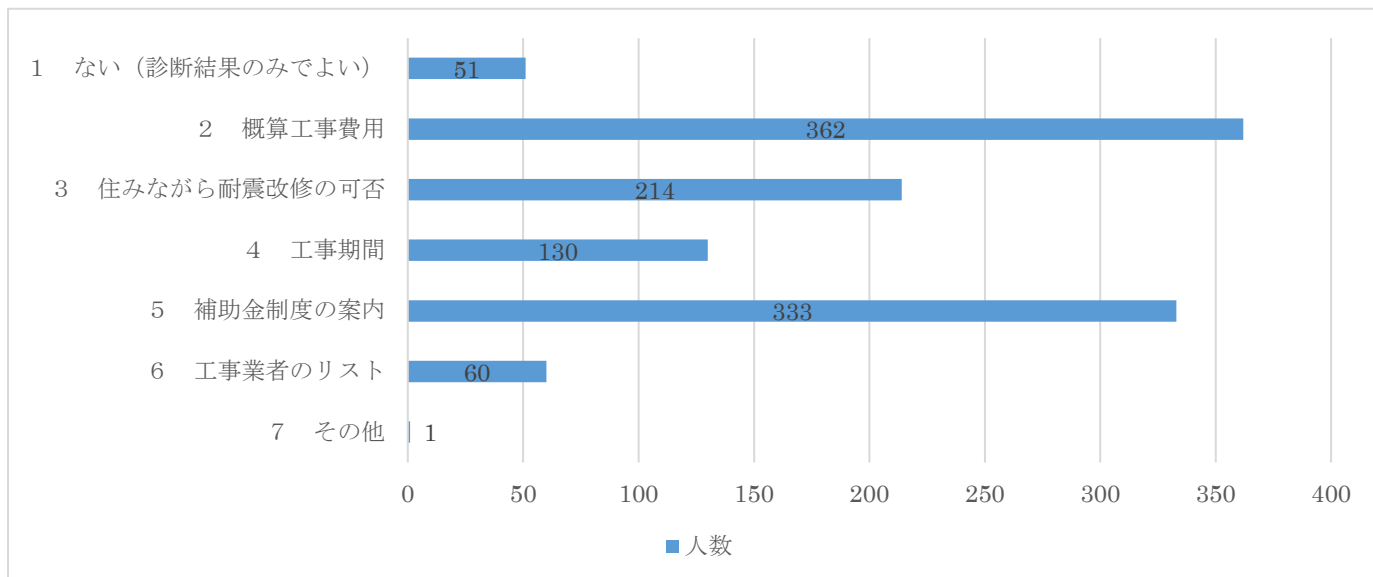
### 問12以降は全員回答

【問12】平成12年5月以前に建築された住宅は無料耐震診断を受けることができます。住宅の無料診断制度の周知を図るにはどのような方法が有効だと思いますか。



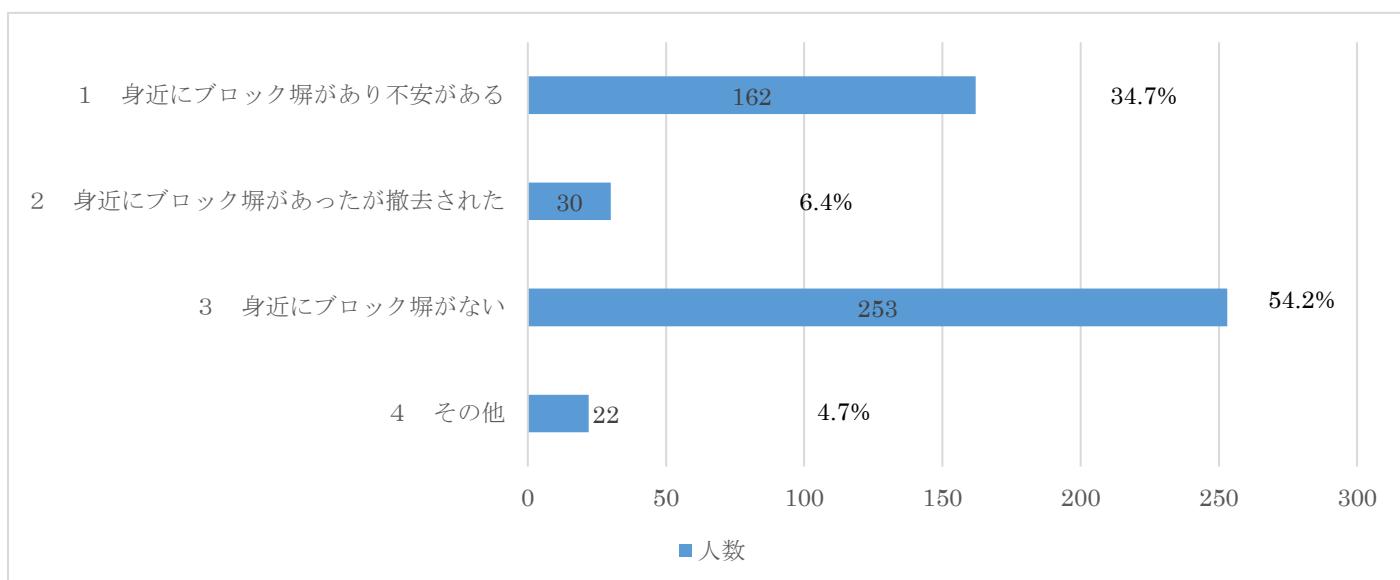
※3つまで選択、回答者467名

**【問13】耐震診断を受けた場合、結果の説明を受ける際に追加で知りたい情報はありますか。**



※3つまで選択、回答者467名

**【問14】大阪府北部地震（平成30年）では、ブロック塀倒壊により通学中の児童が死亡する事故が発生しました。生活道路や通学路のブロック塀について不安を感じますか。**



**【問15】道路に面したブロック塀を撤去する、ブロック塀の撤去後の措置として取組みたいことはありますか。**

